

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-44344

(P2005-44344A)

(43) 公開日 平成17年2月17日(2005.2.17)

(51) Int.Cl.⁷

G06F 17/60

F I

G06F 17/60 1 3 2

G06F 17/60 1 2 4

G06F 17/60 5 0 6

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 公開請求 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2004-187060 (P2004-187060)

(22) 出願日 平成16年5月31日 (2004.5.31)

(71) 出願人 504245413

宮本 善郎

三重県津市白塚町 1-5 4

(71) 出願人 504245424

宮本 英尚

三重県津市白塚町 1-5 4

(74) 代理人 100075823

弁理士 嶋本 久寿弥太

(72) 発明者 宮本 善郎

三重県津市白塚町 1-5 4

(72) 発明者 宮本 英尚

三重県津市白塚町 1-5 4

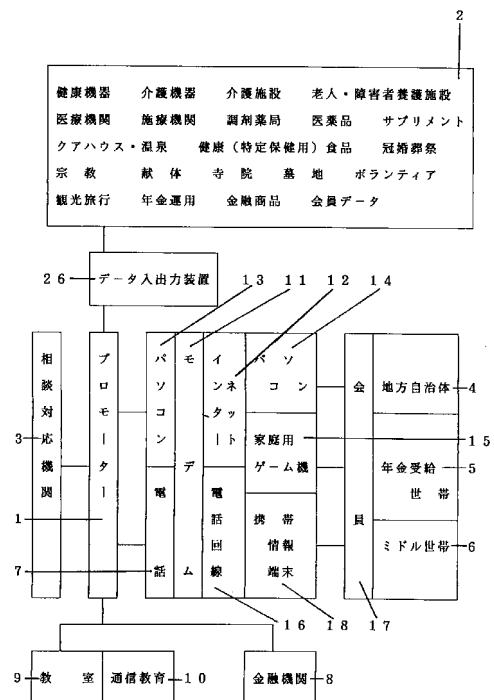
(54) 【発明の名称】 携帯情報端末等を利用したライフアメニティ情報サービスシステム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 携帯情報端末等を利用し、高齢化社会に対応して、高齢者中心の最適なライフアメニティ情報の提供を行う。

【解決手段】 プロモーターと、データベースと、相談対応機関と、教室と、通信教育と、会員と、金融機関とで構成され、データベースにはデータ入出力装置が併設され、プロモーターと会員との間では、パソコン、家庭用ゲーム機、携帯情報端末等を利用し、システムの運用を図り、会員にはＩＣチップが組み込まれた会員カードが交付され、電話回線、またはインターネットに接続する回線・無線通信を利用してデータ通信を行う場合の信号変換装置であるモデムを介して、インターネットに接続したデータベースを連動させ、地方自治体や相談対応機関など指定の連絡先までの連絡を自動化し、かつ、データベースの補正を行うことを特徴とした携帯情報端末等を利用したライフアメニティ情報サービスシステムである。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロモーター 1 と、プロモーター 1 が所有または関与するライフアメニティ情報のデータベース 2、プロモーター 1 が経営または契約する相談対応機関 3 と、プロモーター 1 が経営または契約する健康セミナー・介護セミナー・資金運用セミナー・イベントなどを開催する教室 9 と、スキル・キャリア・ライセンスなどの経験・資格などを獲得支援する通信教育 10 と、プロモーター 1 と契約する地方自治体 4・年金受給世帯 5・ミドル世帯 6 などの会員 17 と、プロモーター 1 と契約する金融機関 8 などで構成され、プロモーター 1 と契約する地方自治体 4・年金受給世帯 5・ミドル世帯 6 等の会員 17 との間では、プロモーター 1 側のパソコン 13 および電話 7 と、モデム 11 等を介してインターネット 12 に接続したパソコン 14 および家庭用ゲーム機 15、もしくは電話回線 16 に接続した携帯情報端末 18 等を利用し、データベース 2、33 には、データ入出力装置 26 が併設され、システムの運用を図ることを特徴とする携帯情報端末等を利用したライフアメニティ情報サービスシステム。

【請求項 2】

携帯情報端末等を利用したライフアメニティ情報サービスシステムの運用において、会員は地方自治体 4、28、年金受給世帯 5、29、ミドル世帯 6、30 を中心として構成され、会費の支払いに伴い、プロモーター 1、19 と契約する地方自治体 4、28、年金受給世帯 5、29、ミドル世帯 6、30 などの会員 17、27 は、会員が保有するインターネット 12 に接続したパソコン 14、31 および家庭用ゲーム機 15、32 もしくは電話回線 16 に接続した携帯情報端末 18、20 等を利用し、会員に必要な情報を定期的・不定期的に供給し、プロモーター 1 が所有または関与するライフアメニティ情報のデータベース 2 を自由に利用でき、プロモーター 1 が経営又は契約する相談対応機関 3 を活用でき、プロモーター 1 が経営または契約する健康セミナー・介護セミナー・資金運用セミナー・イベントなどを開催する教室 9 に参加でき、スキル・キャリア・ライセンスなどの経験・資格などを獲得支援するための通信教育 10 を利用できるものであって、利用料の支払いは会員の銀行口座 24 を介してプロモーターの銀行口座 25 に振り込まれることになっていることを特徴とする携帯情報端末等を利用したライフアメニティ情報サービスシステム。

【請求項 3】

ライフアメニティ情報サービスシステムにおけるデータ入出力は、併設されているデータ入出力装置 26 により行い、データは、会員 17、27 に役立つ投薬歴、体調、食生活などのデータを基本的に入力し、データ入出力装置 26 により新規データの入力やデータの更新が定期的に行われ、データベース 2、33 のコンテンツは、会員カード 34 として表わされ、会員カード 34 には IC チップ 35 が組み込まれ、データベース 2、33 のコンテンツは、簡単に出力されるようになっており、小規模な地方自治体などには第 1 機械検索部 36、第 2 機械検索部 37 が設けられている会員カード 34 が用いられるようになっている携帯情報端末等を利用したライフアメニティ情報サービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、モデム等を介してインターネットに接続したパソコン及び家庭用ゲーム機、もしくは携帯情報端末等を利用し、高齢化社会に対応して高齢者中心のライフアメニティ情報の提供ばかりか、ボランティア、教育、キャリアなどへの連関を進め、ひいては地方自治体の福祉行政の活発化と財政の健全化を図り、高齢者の孤独感の解消ばかりか、快適な高齢化社会を招来させることを課題としたものである。

【背景技術】

【0002】

従来からモデム等を介してインターネットに接続したパソコン及び家庭用ゲーム機、もしくは携帯情報端末等を利用する情報サービスは、携帯情報端末等のすさまじい普及と共に

に、携帯情報端末等の機能そのものが、携帯電話ひとつとっても、単なる通話のための電話から、カメラを搭載した機種が登場など、さまざまな進化を遂げており、その進歩は止まるところは知らず、さらに、機能に加えてアプリケーションも多数にわたり提供されている。

【0003】

その機能及び使用方法是携帯電話会社により少々異なるが、メールを筆頭に静止・動画像・ナビゲーション・高速パケットデータ通信などがあり、アプリケーションとしてはゲームなどのアプリケーションをダウンロードして遊べるJava（登録商標）などがみられる。

【0004】

しかし、数多く登場しているアプリケーションとしては、ゲームのダウンロードが分かりやすい例とされ、携帯電話がゲームとしても多くの人に活用されているのも事実として知られているが、小規模の地方自治体などでは有効で経済的な活用は困難であった。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明が提案するモデム等を介してインターネットに接続したパソコン及び家庭用ゲーム機、もしくは携帯情報端末等を利用したライフアメニティ情報サービスシステムは、高齢化社会に対応し、高齢者・ミドルを中心にした生活を快適にするためのライフアメニティ情報を介して、高齢者・ミドルの生活環境を向上させ、高齢者・ミドルの生きがいを供与し、ひいては地方自治体の活動の指針が確保できるばかりか、福祉行政の活発化と財政の健全化を図るものである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、上記の目的を解決するために提案したもので、図1、図2に従って、詳細に説明すると、プロモーター1、19と、プロモーター1、19が所有または関与するライフアメニティ情報のデータベース2と、プロモーター1、19が経営または契約する相談対応機関3と、プロモーター1、19が経営または契約する健康セミナー・介護セミナー・資金運用セミナー・イベントなどを開催する教室9と、スキル・キャリア・ライセンスなどの経験・資格などを獲得支援する通信教育10と、プロモーター1、19と契約する地方自治体4、28・年金受給世帯5、29・ミドル世帯6、30などの会員17、30と、プロモーター1、19と契約する金融機関8などで構成され、プロモーター1、19と契約する地方自治体4、28・年金受給世帯5、29・ミドル世帯6、30などの会員17との間では、プロモーター1、19側のパソコン13および電話7と、モデム11等を介してインターネット12に接続したパソコン14および家庭用ゲーム機15、もしくは電話回線16に接続した携帯情報端末18等を利用し、システムの運用を図っている。

【0007】

一方、本発明の携帯情報端末等を利用したライフアメニティ情報サービスシステムの運用について、図1、図2に従って、一例を具体的に説明すると、会員17、27、地方自治体4、28、年金受給世帯5、29、ミドル世帯6、30を中心として構成され、会費の支払いにより会員と認められ、プロモーター1、19と契約する地方自治体4、28、年金受給世帯5、29、ミドル世帯6、30などの会員17、27は、会員17、27が保有するインターネット12に接続したパソコン14、31および家庭用ゲーム機15、32もしくは電話回線16に接続した携帯情報端末18、20等を利用し、会員に必要な情報を定期的・不定期的に供給されるばかりか、プロモーター1、19が所有または関与するライフアメニティ情報のデータベース2、33を自由に利用でき、プロモーター1、19が経営または契約する相談対応機関3を活用でき、プロモーター1、19が経営または契約する健康セミナー・介護セミナー、資金運用セミナー・イベントなどを開催する教室9に参加でき、スキル・キャリア・ライセンスなどの経験・資格などを獲得支援するための通信教育10を利用できるものであって、利用料の支払いは会員の銀行口座24を介

10

20

30

40

50

してプロモーターの銀行口座 25 に振り込まれることになっている。

【0008】

本発明において会員 17, 27 となる地方自治体 4、28 は、高齢化社会に対応して福祉、医療、介護等に多額の財政を投じており、政策課題も「福祉・医療サービスの推進」と「地域医療体制の確保」があげられ、その中身も「福祉・医療サービスの推進」では、福祉サービスの支援と質の向上、高齢者が安心して暮らせる仕組み、保健・医療・人材の養成・確保、身体・知的障害者の地域生活での支援、精神障害者の自立した生活・就労支援、福祉の町づくりの推進などについてプロジェクトが作られ、「地域医療体制の確保」では、がん対策の総合的な推進、総合的な救急医療体制の充実などのプロジェクトが作られており、具体的には、基本健康診査・がん検診・結核・成人歯科健康診査などが進められ、今後も「福祉・医療サービスの推進」と「地域医療体制の確保」などの充実は必至となってくるが、高齢化、少子化を背景として、すでに地方自治体 4、28 の財政負担は厳しくなっている。

【0009】

こうした地方自治体 4、28 の財政負担の厳しさを解消するために、本発明のライフアメニティ情報サービスシステムによって、住民に対するライフアメニティ情報の提供による行政への期待に応え、行政負担の軽減にも寄与するもので、高齢者や身体・知的障害者の健康回復や健全化にも役に立つようになってきている。

【0010】

本発明の会員 17, 27 となる年金受給世帯 5、29 には、高齢化社会に対応して健康で長生き、ボケず寝たきりにならずというライフアメニティ情報（介護機器、医薬品、サプリメント、クアハウス・温泉、健康（特定保健用）食品、ボランティア、観光旅行、年金運用、金融商品など）のサービスを提供するもので、かつ、会員 17, 27 となる年金受給世帯 5、29 に適した情報や商品・サービスの紹介なども行われ、情報のフィードバックにより、効率的で安心できる快適な生活ができるようになっている。

【0011】

本発明の会員 17, 27 となるミドル世帯 6、30 には、定年後の高齢化社会に対応して健康で長生きのためのライフアメニティ情報（医薬品、サプリメント、クアハウス・温泉、健康（特定保健用）食品、ボランティア、観光旅行、年金運用、金融商品など）のデータベース 2、33 を利用してライフアメニティ情報サービスを提供するもので、かつ、プロモーター 1、19 が経営または契約するパソコンセミナー・健康セミナー・介護セミナー・資金運用セミナー・イベントなどを開催する教室 9 に参加でき、スキル・キャリアばかりか、税理士・行政書士・不動産鑑定士・健康アドバイザーなどのライセンスの経験・資格などを獲得支援するための通信教育 10 を利用できるようになっており、効率的で安心できる快適な生活ができるようになっている。

【0012】

プロモーター 1、19 が経営または契約する相談対応機関 3 としては、損害保険企業、生命保険企業、健康増進企業、スポーツクラブ、老人・障害者養護施設、介護施設、介護機器企業、生活補助企業、医療機関、薬局、ボランティアなどがあげられ、会員の相談に適切に対応できるようになっており、会員 17, 27 のミドル世帯 6、30 に提供されるライフアメニティ情報の中で、ボランティア情報を指定すると、地域に貢献するボランティア作業がデータベース化されており、老人・障害者養護施設での文化教室（書道、カラオケ、園芸、ダンスなど）への参加が自由にできるようになっており、定年後の高齢化社会に対応して健康で長生きのための効率的で安心できる快適な生活ができるようになっている。

【0013】

本発明のライフアメニティ情報サービスシステムにおけるデータベース 2、33 の内容について、具体的に説明すると、健康・介護・医療などに関しては「健康機器」、「健康（特定保健用）食品」、「介護機器」、「介護施設」、「老人・障害者養護施設」、「医療・施療機関」、「調剤薬局」、「医薬品」、「クアハウス・温泉」などがあり、冠婚葬

祭・寺院などに関しては「冠婚葬祭」、「宗教」、「献体」、「寺院」、「墓地」などがあり、老後生活に関しては「年金運用」、「金融商品」などのキーワードによって簡単に呼び出しができるようになっている。

【0014】

データベース2、33のなかの健康・介護・医療などのうち、「健康（特定保健用）食品」を例にみると、生体調節機能別に「肥満予防」、「疲労回復」、「整腸」、「高血圧予防」、「低う蝕」、「血行促進」、「糖尿病予防」、「抗腫瘍」、「老化予防」、「抗コレステロール」、「アレルギー予防」などがあり、有効成分をみると、「肥満予防」ではオリゴ糖、アスパルテーム、サポニン、ステビア、食物繊維等があり、「疲労回復」ではEPA、オクタコサノール、天然アミノ酸エキス、オルニチンなどがあり、「整腸」ではフラクトオリゴ糖、N-アシルラクタムなどがあり、「高血圧予防」ではガンマリノレン酸などがあり、「低う蝕」ではキチン、分岐オリゴ糖、セントース、トレハロース、アスパルテーム等があり、「血行促進」ではEPA、サポニンなどがあり、「糖尿病予防」ではオリゴ糖、フラクトース、パラチノース、アロエエキスなどがあり、「抗腫瘍」では担子菌の抽出エキス等があり、「抗コレステロール」ではスクロースポリエステル、セルロース、オクタコサノール、海産クロレラなどがあり、「老化予防」ではホスファチジルコリン、大豆サポニン、ハトムギエキスなどがあり、「アレルギー予防」ではクマリン酸などがみられる。

10

【0015】

ライフアメニティ情報サービスシステムにおけるデータベース2、33には、データ入出力装置26が併設されており、データ入出力装置26により会員17、27に役立つデータを基本的に入力されたデータベース2、33が用意され、とくにデータベース内の会員データについては、投薬歴、体調、食生活なども入力されており、データ入出力装置26により新規データの入力やデータの更新が定期的に行われている。

20

【0016】

本発明のライフアメニティ情報サービスシステムにおけるデータベース2、33のコンテンツは、1例として図3に示すように会員カード34として表わされ、会員カード34にはICチップ35が組み込まれ、データベース2、33のコンテンツは、簡単に出力されるようになっており、小規模な地方自治体などには第1機械検索部36、第2機械検索部37が設けられている会員カード34が用いられるようになっている。

30

【発明の効果】

【0017】

本発明のライフアメニティ情報サービスシステムは、高齢化社会に対応し、高齢者・ミドルを中心にしたライフアメニティ情報をデータベースとしているため、高齢者・ミドルに対してきめ細かな情報提供サービスができ、高齢者・ミドルの生活環境を向上させ、高齢者・ミドルの生きがいを授与するようになった。

【0018】

また、高齢者や障害者の増加に伴い、地方自治体4、28の福祉に関する行政サービスと高齢者や身体・知的障害者に対する財政負担の厳しさと重圧はいやがうえにも大きくなってきているだけに、本発明のライフアメニティ情報サービスシステムの提供と活用によって、高齢者や身体・知的障害者の健康回復や健全化にも役に立つようになってきているばかりか、地方自治体の行政への期待に応え、活動の指針を確保できるばかりか、地方自治体の福祉に関する行政が活発化し、住民の信頼性も高まり、補助金の利用も有効に使われるようになり、地方自治体の行政負担の軽減にも寄与でき、財政も健全化することになった。

40

【0019】

本発明の会員17、27となる年金受給世帯5、29には、高齢化社会に対応して健康で長生き、ボケず寝たきりにならずというライフアメニティ情報（介護機器、医薬品、サプリメント、クアハウス・温泉、健康（特定保健用）食品、ボランティア、観光旅行、年金運用、金融商品など）のサービスを提供するもので、かつ、会員17、27となる年金

50

受給世帯 5、29 に適した情報や商品・サービスの紹介なども行われ、情報のフィードバックにより、効率的で安心できる快適な生活ができるようになり、また、会員 17、27 となるミドル世帯 6、30 には、定年後の高齢化社会に対応して健康で長生きのためのライフアメニティ情報（医薬品、サプリメント、クアハウス・温泉、健康（特定保健用）食品、ボランティア、観光旅行、年金運用、金融商品など）のデータベース 2、33 を利用してライフアメニティ情報サービスを提供するもので、かつ、プロモーター 1、19 が経営または契約するパソコンセミナー・健康セミナー・介護セミナー・資金運用セミナー・イベントなどを開催する教室 9 に参加でき、スキル・キャリアばかりか、税理士・行政書士・不動産鑑定士・健康アドバイザーなどのライセンスの経験・資格などを獲得支援するための通信教育 10 を利用できるようになっており、効率的で安心できる快適な生活ができるようになった。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0020】

本発明のライフアメニティ情報サービスシステムは、高齢者・ミドルを中心にしたライフアメニティ情報をデータベースとし、会員のニーズに対応して会員が保有するインターネット 12 に接続したパソコン 14、31 および家庭用ゲーム機 15、32 もしくは電話回線 16 に接続した携帯情報端末 18、20 等を利用し、ライフアメニティ情報をタイムリーに会員に供給し、会員の健康に関連した会員データについては、投薬歴、体調、食生活などを継続してデータベース化し、会員の利用については会員の銀行口座から会費と利用料をプロモーターの銀行口座に自動振り込まれることを特徴とし、総体的に会員の経済的メリットに寄与するようにしている。

20

【実施例 1】

【0021】

本発明におけるライフアメニティ情報サービスシステムの 1 実施例をあげると、会員 17、27 が携帯情報端末 18、20 等を利用して「医薬品」にアクセスすると、生体調節機能別に「肥満予防」、「疲労回復」、「整腸」、「高血圧予防」、「低尿酸」、「血行促進」、「糖尿病予防」、「抗腫瘍」、「抗コレステロール」、「老化予防」、「アレルギー予防」などがピックアップされ、「高血圧予防」にアクセスすると、ガンマリノレン酸のほか、K イオン強化、海産クロレラなどが挙出され、メーカー、商品名、価額などがリストアップされるようになっている。

30

【0022】

また、高血圧に関心の有る会員に対するライフアメニティ情報サービスとしては、血圧と脈搏の数値の記録が会員データとしてデータベース 2、33 に蓄積され、数値の変化に対応して関連情報としての食材情報などが送られることになる。

【実施例 2】

【0023】

健康・介護・医療などのうち、「クアハウス・温泉」を例にみると、体の調子を整えたり、病気を治すためにクアハウス・温泉などの利用がなされているが、温泉法によると、地中から湧出する温水、鉱水および水蒸気その他のガス（炭化水素を主成分とする天然ガスを除く）で、温泉から採取されときの温度として 25 度以上となっているが、ガス性以外の溶存物質が泉水 1 kg 中 1 g 以上を含んでいることが要求されているほか、二酸化炭素、硫黄成分、ラドン、水素炭酸塩、鉄、水素イオンなどの化学成分につき各々その何 mg 以上が含まれていなければならないかが決められている。

40

【0024】

温泉の成分別にみると「食塩泉」、「重曹泉」、「硫黄泉」、「鉄泉」、「炭酸泉」、「硫酸塩泉」、「放射能泉」、「酸性泉」、「単純温泉」などがあり、薬理作用別にみると、「食塩泉」では、皮膚についた食塩粒により汗の蒸発を防ぎ、保温効果が良いため、慢性関節障害、リウマチなどに利用され、飲むと胃液の分泌や胃腸の運動が盛んで、慢性の胃腸障害に効果があるとされている。「重曹泉」では、皮膚の脂肪や分泌物を乳化して洗い流すため皮膚をなめらかにし、飲むと胃酸を中和し、胆汁分泌を促すので欧州では肝

50

臓の湯と言われている。「硫黄泉」では、硫化水素ガスにより毛細血管が拡張されて血圧が下がり、皮膚を柔らかくするので、皮膚そうよう症、角化症、湿疹などの慢性皮膚病などに効果があるとされている。「鉄泉」では、飲むと鉄欠乏性貧血に効果的で、入浴すると冷え性やリウマチ性疾患などに良いとされている。「炭酸泉」では、毛細血管や細小動脈を拡張するため血圧を下げるとされている。「硫酸塩泉」では、高血圧症、動脈硬化、脳卒中、慢性関節リウマチに良いとされている。「放射能泉」では、ラドンとトリウム系のトロンがあり、神経痛、リウマチに良いとされている。「酸性泉」では、遊離鉱酸を含む温泉で、抗菌力があり、水虫、トリコモナス膣炎、疥癬などに有効とされている。「単純温泉」では、中風、神経痛によく、飲むと利尿作用があり、尿路疾患や糖尿病などに良いとされている。

10

【0025】

また、高血圧に関心の有る会員に対するライフアメニティ情報サービスとしては、薬理作用の面から毛細血管や細小動脈を拡張するため血圧を下げるとされている「炭酸泉」の白骨温泉（長野県）、硫酸イオンが主成分の「硫酸塩泉」の土湯温泉（福島県）等があげられ、会員データとしてデータベース2, 33に蓄積されることになる。

【産業上の利用可能性】

【0026】

本発明によれば、マネジメントスキル、ヒューマンスキル、テクニカルスキルを別々にする相談対応機関3、地方自治会4、28などの経営意識を大きく変化させることができるようになるものと思われる。

20

【図面の簡単な説明】

【0027】

【図1】 本発明のライフアメニティ情報サービスシステムの概要図。

【図2】 本発明のライフアメニティ情報サービスシステムの運用図。

【図3】 本発明のライフアメニティ情報サービスシステムに用いる会員カードのフォーマット

【符号の説明】

【0028】

- 1：プロモーター
- 2：データベース
- 3：相談対応機関
- 4：地方自治体
- 5：年金受給世帯
- 6：ミドル世帯
- 7：電 話
- 8：金 融 機 関
- 9：教 室
- 10：通 信 教 育
- 11：モ デ ム
- 12：インターネット
- 13：パ ソ コ ン
- 14：パ ソ コ ン
- 15：家庭用ゲーム機
- 16：電 話 回 線
- 17：会 員
- 18：携帯情報端末
- 19：プロモーター
- 20：携帯情報端末
- 21：サ イ ト
- 22：携帯電話会社

30

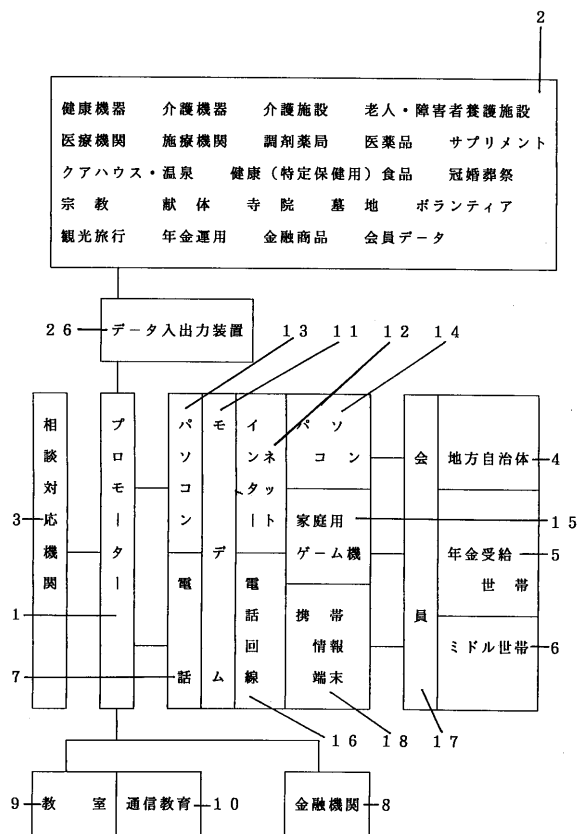
40

50

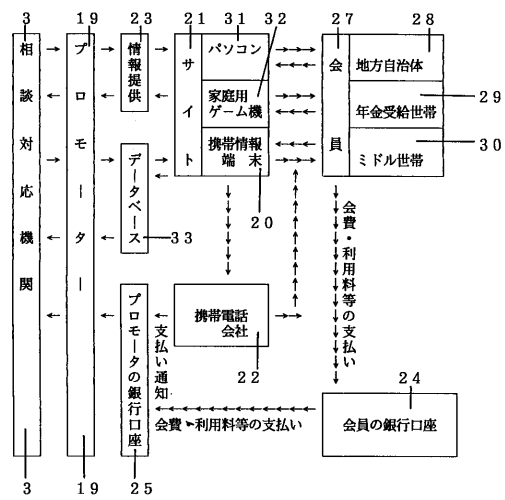
- 23：情報提供
- 24：会員の銀行口座
- 25：プロモーターの銀行口座
- 26：データ入出力装置
- 27：会 員
- 28：地方自治体
- 29：年金受給世帯
- 30：ミドル世帯
- 31：パソコン
- 32：家庭用ゲーム機
- 33：データベース
- 34：会員カード
- 35：ICチップ
- 36：第1機械検索部
- 37：第2機械検索部

10

【図1】



【図2】



【図 3】

		3 4 ↓	3 6 ↓	
生年月日	性 別			
会員コード	氏 名	生年月日	性 別	介
住 所				護
血 圧	脈 搏			旅
				行 3 7
				ボ ラ ン テ ィ ア
3 5 I Cチップ				